



令和元年5月1日。新しい時代が、幕を開けました。かつて平成元年を迎えた時は、群馬県庁で新年度予算編成の仕事をしていました。新しい時代はどんな時代になるのかと思いつながら、机の書類の表紙を「昭和64年度予算」か



市役所本庁舎市民ホール

ら「平成元年度予算」に書き換えた事を、今でも覚えています。当時は、バブル時代の絶頂期でした。その後バブルは崩壊し、日本の経済は長く停滞しました。

あれから30年。新しい時代を迎える今、渋川市政を担う者としてしっかりと時代の足元を見つめながら10年先、20年先を考えて、今何をなすべきか、行動しなくてはと思っています。

新年度、渋川市も人事、組織を一新しました。市役所のサービス向上を図るため、庁舎内を変えました。本庁舎の玄関ホールに「総合案内」を設置するとともに、いろいろな手続きを一カ所で済ませられる「ワンストップサービスコーナー」を設けました。お客様である市民の皆様には職員が向き合うように、机の向きも変えました。室内の模様替えをすると、気持ちも変わります。

また、総合案内の設置や机の配置だけでなく、市民には家族と思って接してくださいと伝えました。優しく親切に、丁寧に……。

「初春の令月にして、気淑く風和ぎ……(万葉集「梅花の歌」)」
気分を新たに、美しく平和な日本、ふるさと渋川を共に築いていきましょう。